



☆4月号

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！これから始まる夢の高校生活に期待を抱いている頃だと思いますが、残念でした！この学校ではぼーっとしていると小テスト、課題、試験と、学校から次々と刺客が送り込まれ、気づいたら1年が終わっていたなんてこともざらにあります。よって今のうちに覚悟を決めておいた方がいいでしょう！ということで我々図書委員広報部がみなさんに耐性をつけてもらうべく、絶望のどん底へといざなう「バッドエンド小説」をご紹介します。



烏に単は似合わない 阿部智里

私が母に進められて読んでみた本です。読んでいくうちに「それから？それから？」と、どんどん引き込まれてしまいます。また、意外とテンポよく読めるのでぜひ手に取ってみて欲しいです。そしてこの本は、予想もしなかった衝撃のラストが待っています。私は今まで読んできた本とは全く違う物語の展開に夢中になって一気に読んでしまいました。



グリーンレクイエム 新井素子

1980年のSF小説。植物学者の助手の青年と、植物系宇宙人の女性が織りなす切なく哀しい、それでいてとても美しい物語。ガリンと打たれるようなメッセージ性。優しい緑とコーヒーの香りを、ショパンのノクターンにのせて。



#拡散忌望 最東対地

ある高校の生徒たちのウワサ。
<ドロリンチョ@MW779>からのツイートに要注意、さらされた人はメッセージを拡散せよ。失敗すると恐ろしいペナルティが。生徒たちは呪いを回避しようとあがく。そしてたどりついた驚くべき真相とは？
Twitterをやっている皆さん、気を付けて下さいね……。



犬はどこだ 米澤穂信

犬探し専門を掲げて調査事務所を開業した紺屋長一郎の元へ転がり込んできた2つの依頼を調査します。そして何より魅力的な所は、個性的なキャラクターたちのかけ合いです。仕事にやる気のない探偵、長一郎と熱血な助手のはんぺーの2人の視点が切り替わりながら物語は進んで行き、それぞれの調査は次第に交差していく。夢中になって読める魅力的な本です。



5分後に意外な結末 ③白い恐怖

この本はその名の通り、5分程度で読める小話を27話分ほど収録しています。ただ、「白い恐怖」といっても「ウギヤーツ!!」と叫ぶような怖さはあまりありません。心臓と胃の間にスライムがにゅると入ってくるような、独特な世界観に引き込まれ、やみつきになる不思議な作品です。気軽に読めるのでぜひ借りに来て下さい。



5分後に後味の悪いラスト

こちらも5分で読める作品を集めた短編集。しかし短いからと言って侮ってはいけません。吐き気を覚えるほどグロテスクな描写や登場人物をことごとく追い詰めていくストーリー展開、そして最悪の結末の数に、あなたの心はどんどん壊されていくでしょう。心臓の弱い方はご注意ください。

図書委員からのお知らせ

今回はバッドエンド小説を紹介しましたが、絶望したまま学校生活をバッドエンドされても困るので、みなさんには、勉強砂漠と化したこの大宮開成のなかに唯一存在するオアシス、図書館を紹介します。図書館では小説はもちろん、ライトノベル、百科事典、赤本まで数多くの本を読むことができます。2階には非常にいい環境で勉強することのできる自習室を完備、また友人同士で教え合いをすることを目的としたラーニングcommonsもあり、生徒同士で白熱した議論を交わし合っている姿をよく目にします。結局勉強の話になってしまいましたが、とにかく雰囲気はとて素晴らしい場所です。ぜひいらしてください。また図書館関係で働く委員会、図書委員も募集しています。仕事内容はそこそこ多いですが、やりがいがあり、委員一同アットホームな空気の中で活動しています。ぜひ入ってみてください。我々広報部もクリエイティブかつアーティスティックな逸材を求めています。パソコン使える方募集中です。(注)使えなくても大丈夫です。でも、使いこなせる人が一人でも入ってくればいいな(懇願)